

北海道立北の森づくり専門学院の概要



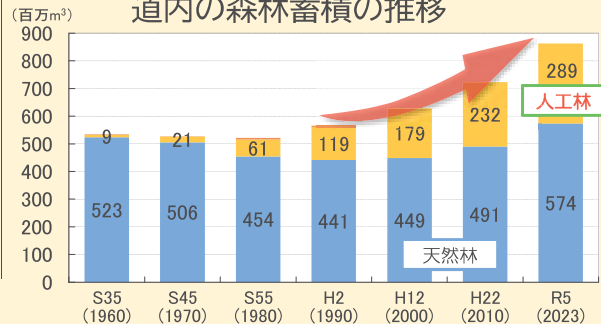
北森カレッジ創設の背景

① 北海道の森林面積は **全国 No. 1!**
(※全国の22%)

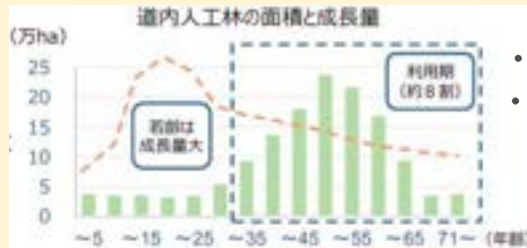


- 土地面積の71%。緑色が全て森林!
- 植林面積や丸太の生産量なども全国一

② 人工林を主体に**資源が充実!**
道内の森林蓄積の推移



出典：道水産林務部「北海道林業統計」



- 森林蓄積の増加⇒CO₂の吸収
- 人工林は高齢化により、森林吸収量は減少傾向

• 森林の若返りが必要

北森カレッジ創設の背景

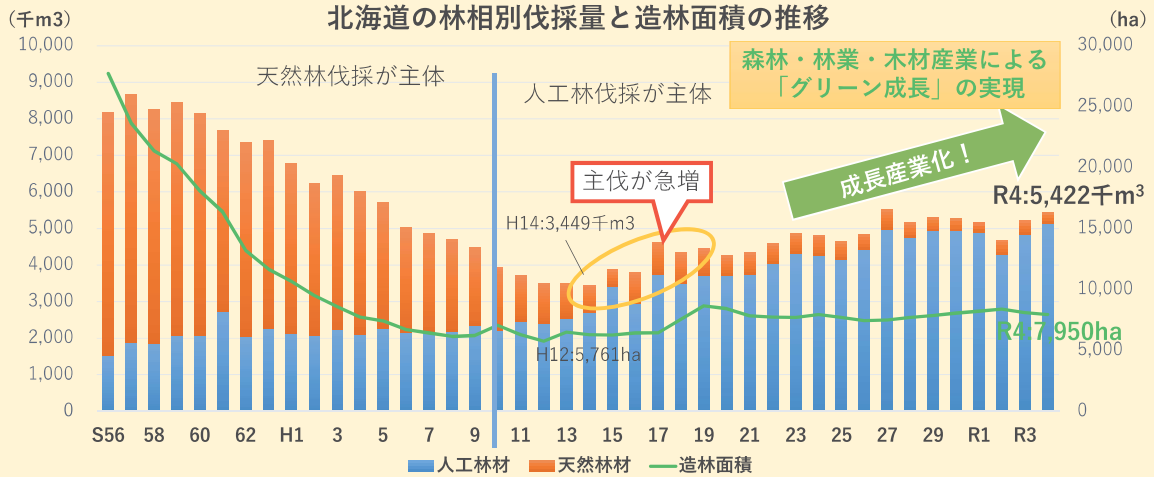
森林吸収源対策

林業は持続可能な循環産業



出典：北海道森林管理局工部（イラスト：平田美紗子）に加筆

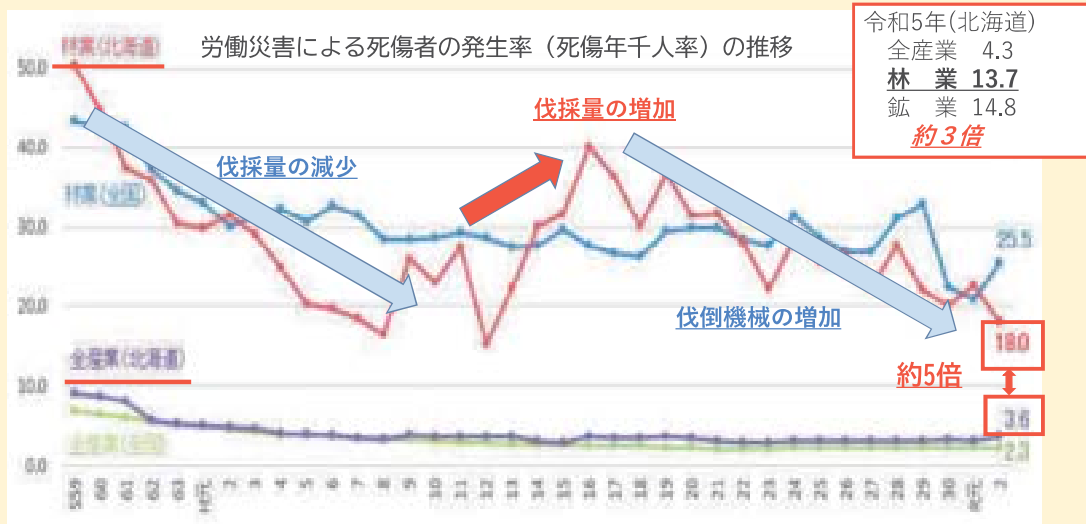
人工林を主体とした林業



資料：北海道林業統計（造林面積には改植を含まない） 3

北森カレッジを取り巻く情勢

■依然として高い労働災害発生率(全産業の約3~5倍)



出典：厚生労働省「労働災害統計」、北海道労働局「労働災害発生の動向」 4

北森カレッジを取り巻く情勢

北海道は、高性能林業機械導入全国No.1



ハーベスタ
伐採、枝払い、
玉切り、集積を行う



フォワーダ
木材を積んで運ぶ



概 要

名 称	北海道立北の森づくり専門学院（略称:北森カレッジ）		
場 所	旭川市		
運営形態	専修学校		
就学要件	道内の林業関係企業等への就業を希望する者で ・高校卒業程度の学力を有する ・入学時に40歳以下		
修学期間	2年間	学年定員	40人
学 費 等	授業料・入学料等 →約34万円/2年 教材・被服、資格取得の費用別途 →約85万円/2年		

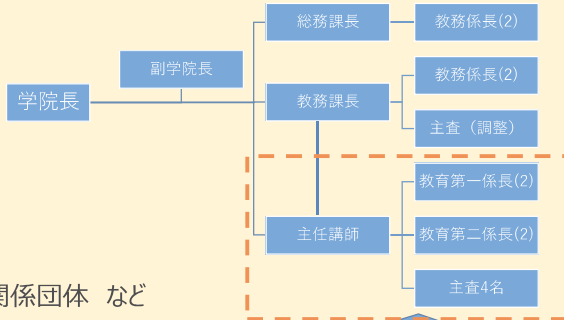


組織体制と教員、外部講師

【組織体制】

北の森づくり専門学院組織機構図（令和5年6月現在）

- 学院長をはじめ総務課・教務課を配置
- ・総務課：庶務、経理及び施設整備・管理 等
- ・教務課：教育プログラムの企画・調整、生徒募集、入学試験、生徒の進路指導、教員による講義・実習 等



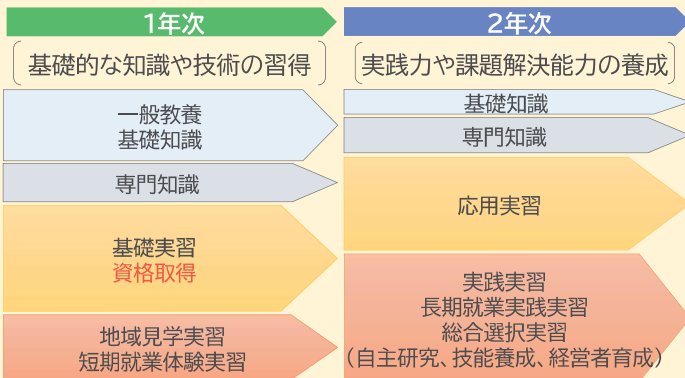
【外部講師】

- 多彩な外部講師による実践的な講義実習
- ・林業等の現場経験が豊富な企業等の職員
→ 林業事業体、森林組合、林業機械メーカー、関係団体 など
- ・専門的な知見を有する研究機関等の職員
→ 道総研、北海道大学、酪農学園大学 など

・教員は枠内の7名と4名の林業技術職員の合計11名
→ 林業普及指導員のほか、道有林整備事業経験者、民間経験者など豊富な現場経験を有する。

※令和6年度は、実習などを中心に約846コマ（約6割）を外部講師が担当

教 育 課 程



令和6年度の教育課程

（単位：コマ数：90分/コマ）

区分	講義	実習	実習割合
1学年	199	438	69%
2学年	157	604	79%
合計	356	1,042	75%

段階的・体系的な教育プログラム



最大15の資格を取得可能

- ・刈払機取扱作業者、伐木等業務従事者、玉掛け、車両系建設機械（整地等）運転（3t以上）、走行集材機械運転業務、簡易架線集材装置等運転業務、伐木等機械運転業務、不整地運搬車運転、荷役運搬機械等によるはい作業従事者 など

身に付けるべき能力と教育課程

区分	卒業認定の方針 (ディプロマポリシー)		即戦力となる人材			将来企業の中核を担う人材			
	分野	学修内容	現場作業 実行基礎力	川上-川下の 基礎知識	資格や コミュニケーション能力	現場管理や 経営の専門知識	生産性向上等に 関する知識	林業・木材産業 の魅力発信能力	地域活性化への 貢献能力
教育課程の方針 (カリキュラムポリシー)		必要能力	安全・的確な調査や 作業技術	広い視点と正確な 木材利用知識	資格取得、主体 性、協調性	経営ビジョン、現 場管理実践力	技術活用、作業シ ナリオ実践力	多様な思考、発 想の発信力	課題解決に向け た実行力
一般教養 基礎知識	基本能力	森林・林業の学びに必 要な基礎知識	◎		○				
	森林科学	森林・林業・樹木など の基礎知識	◎	○					
専門知識 基礎・応用技術	①的確な森林調査・ プランニング力	森林経営	◎	○		◎	○	○	○
		施業技術	◎			○	○		
	②確かな森林施業 の実践力	林業機械	◎			◎	◎		
		路網整備	◎			○	◎		
	③森林・木材の 活用能力	木材利用	◎	◎			○	◎	○
		森林活用	◎	◎				◎	
④業務を円滑に進 める行動力	総合学習	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	
実践技術	総合学習	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

資料：北海道立北の森づくり専門学校教育基本方針

9

北森カレッジの授業内容

分野	第1学年	単位	第2学年	単位
基本能力	情報処理、フィールドワーク	2		
森林科学	森林・林業概論1、樹木学	3	森林・林業概論2、森林環境科学	3
森林経営	森林調査、森林ICT1、森林経営	4	森林ICT2、森林経営実習、森林・林業施策形成、森林施業プランニング	5
施業技術	施業技術1、育林実習1	6	施業技術2、育林実習2、施業技術実習	4
林業機械	林業機械、労働安全衛生、伐木造材実習1、林業機械実習1、資格A・B	17	資格C、資格D、伐木造材実習2・3、林業機械実習2・3、林業機械メンテナンス実習	8
路網整備	森林路網1	1	森林路網2、森林路網3	2
木材利用	木材利用1、木材利用実習	3	木材利用2・3	2
森林活用			野生動物、特用林産、森林活用、資格E（木育）、野生動植物実習	5
総合学習	キャリアデザイン、コンディショニング、短期就業体験実習、地域見学実習	11	地域と森林・林業、長期就業実践実習、総合選択実習、フィンランド研修、企業内研修	22
合計		47		51

資料：令和6年度 教育計画（シラバス）

単位は取得できる最大数。卒業には合計62単位が必要

10

フィンランドとの教育連携による効果的な授業

北森カレッジは、本道と気候や植生などが類似し林業先進地であるフィンランドの「**リベリア林業専門学校**」と締結した覚書に基づき、**高性能林業機械の教育プログラムの開発**をはじめ、教員及び生徒の相互交流などの取組を実施。

- ※ 覚書の内容：①オペレータの指導者への教育や教育プログラムの開発等
②生徒と教職員の相互交流、
③教育ノウハウの共有及び共同プロジェクトの構築 など



【林業先進地域のフィンランド教育ノウハウの共有】

○EduSolution

オンライン会議でリベリア林業専門学校の林業教育のノウハウを共有



- ・カリキュラムの構築
- ・デジタルプラットフォーム
- ・シミュレータトレーニング
- ・林業におけるエルゴノミクス(人間工学)
- ・動画教材の活用
- ・産学官の連携の事例
- ・素材生産性向上プログラム etc.

○シミュレータ競技大会開催

リベリア林業専門学校とオンライン対戦



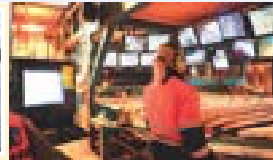
11



フィンランド研修(EduCamp)

世界でも最先端の機械化林業を展開するフィンランド。本道と気候、森林植生、緩やかな地形など共通点が多く、北海道の林業・木材産業の発展のヒントを探る研修。フィンランドの生活、文化についても体験。2年生の総合学習の選択科目。

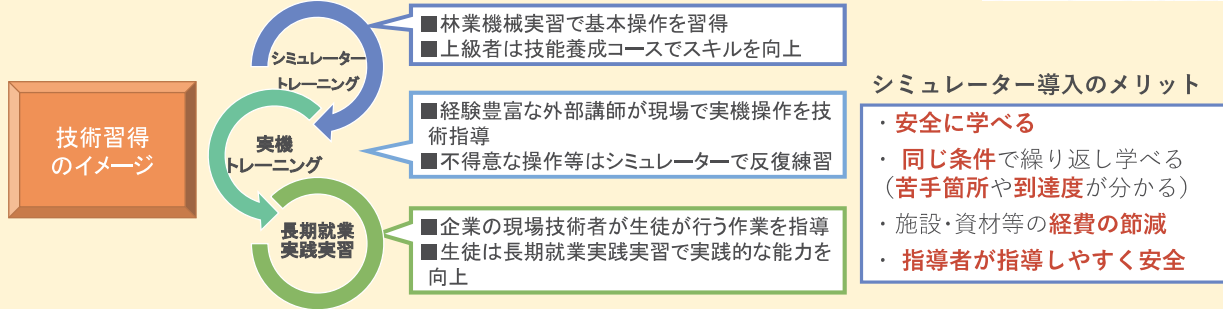
区分	内容
研修期間	令和6年6月9日（日）～6月17日（月）のうち5日間
研修場所	フィンランド・北カレリア リベリア林業専門学校ほか
研修内容	オリエンテーション、シミュレータ研修、フォワーダ操作、ハーベスタ操作、森林管理システムの講義、植栽技術の講義、木材加工工場見学、高性能林業機械製造工場見学、木造建築見学 等
参加者	生徒13名（希望者）、教員4名



12



シミュレーターを活用したオペレータ教育



□ ハーベスタは5区分29課題、フォワーダは8区分38課題

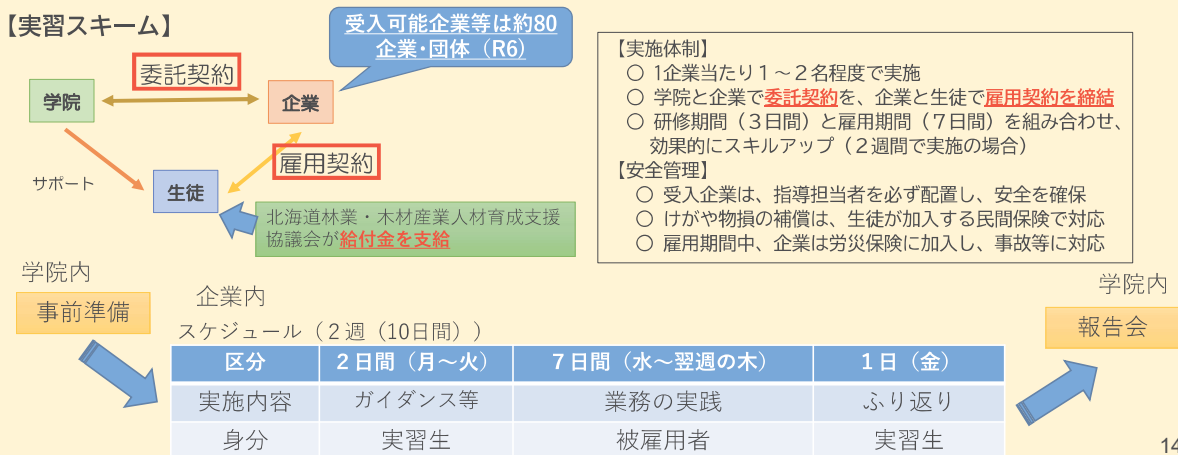
ハーベスタのプログラム		フォワーダのプログラム	
D 1 (立木伐倒)	D 2 (側方伐倒)	B 1 (丸太の扱い)	B 2 (バンドルの取り扱い)
D 3 (前方伐倒)	D 4 (皆伐作業)	B 3 (丸太の集積)	B 4 (荷台への集積)
F 1 (FSC認証)		B 5 (荷台からの荷下ろし)	B 6 (集積からの丸太の分割)
		B 7 (少量の積荷の集材と荷下ろし)	B 8 (集積材をまとめる効果)

13

実践力を養成する長期就業実践実習（コーオプ教育）

- 2年次に**2週間の長期就業実践実習を3回**実施
- 受入企業と**雇用契約を締結**し、現場作業等に従事し**高い実践力を養成**
- **受入企業**も、採用も見据え、受け入れた**生徒の知識・技術を確認できる機会**

【実習スキーム】



14

専門性を高めるカリキュラム

- 2年次は、即戦力としての専門性を高める選択科目で実践力を養成
 - 総合選択実習を75コマ、3コース設置。
 - チェーンソーでの大径木伐倒、機械メンテナンス等の集中実習等を設置。

総合選択実習

技能養成コース

・チェーンソー伐木技術、高性能林業機械操作等の高い技術・技能を養成（20名程度）

自主研究コース

・林業・木材産業の課題を主体的に研究し、分析や考察する能力を養成（10名程度）

経営者育成コース

・会計や経営戦略など企業経営に関する基礎知識と実務能力を養成（10名程度）

集中実習等

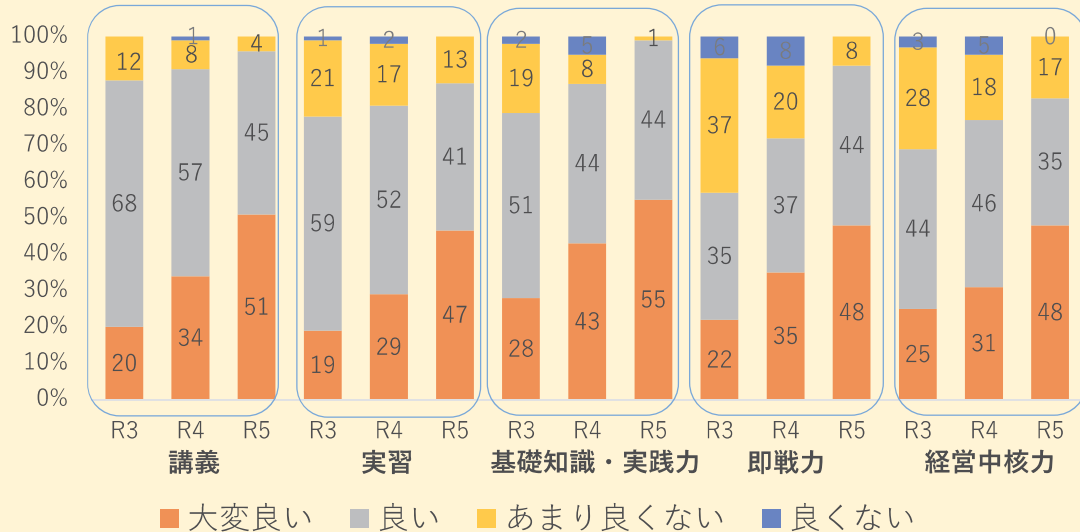
企業内研修
実践的な伐木技術

林業機械メンテナンス実習
部品交換などメンテ

木材利用3
木材評価や木材流通

資格D
フォークリフト

授業内容の評価 (生徒アンケート)



入試方法

【募集方法】

(1) 推薦入学試験

- 指定校制学校推薦：本校が指定する学校の長が推薦する者を募集
- 公募制学校推薦：在籍する学校の長が推薦する者を募集
- 企業推薦：道内の林業・木材産業関係企業の長が推薦する者を募集

(2) 一般入学試験

- 一般選考：道内外の新卒者などを募集
- 社会人選考：転職希望者やUIターン希望者などを募集

※募集定員40名を満たした場合、一般入学試験（第2回）は行いません。

【入学試験に関する日程表】（令和7年度）

試験区分（種別）・会場		日程		試験内容
推薦入学 (公募制学校推薦及び企業推薦) 旭川・札幌・帯広・東京		出願期間	令和6年9月30日(月)～10月18日(金)	面接のみ
		実施日	令和6年10月25日(金)	
一般入学	一般選考	合格発表	令和6年11月5日(火)	小論文、面接
		出願期間	令和6年10月9日(水)～10月30日(水)	
		実施日	令和6年11月11日(月)	
	合格発表	令和6年11月22日(金)		
	出願期間	令和7年1月6日(月)～2月5日(水)		
	実施日	令和7年2月16日(日)		
合格発表	令和7年2月26日(水)			
社会人選考	(第1回) オンライン	出願期間	一般選考(第1回)と同日	面接のみ
		実施日	令和6年11月10日(日)	
	合格発表	一般選考(第1回)と同日		
	出願期間	一般選考(第2回)と同日		
(第2回) オンライン	実施日	一般選考(第2回)と同日		
合格発表				

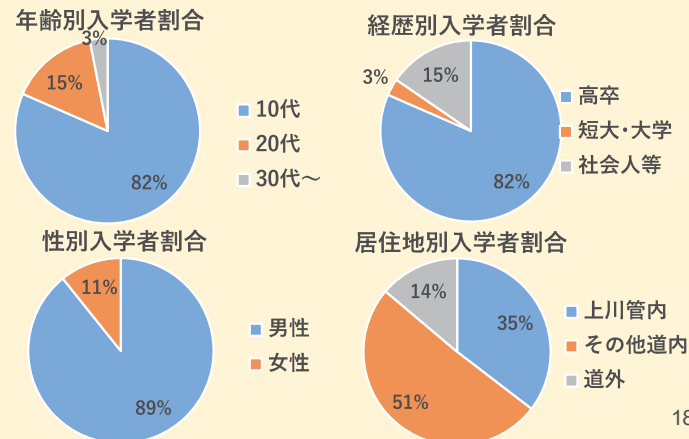
入学生の状況

- 令和3、4年度入学生は定員の**40名**、**その他の年度は定員の約8-9割を確保**
- 道内外から、**様々な年代や経歴**の生徒が入学（R6年度は道外7名、社会人等7名）

入学試験の状況

区分	推薦	一般	合計	受験
R2年度	9	25	34	37
R3年度	31	9	40	47
R4年度	20	20	40	44
R5年度	20	14	34	41
R6年度	11	20	31	33

令和6年度の生徒内訳（1年生31名、2年生35名 計66名）



学費について

2年間でかかる費用（令和5年度 必要経費の概算額）

学 年	入学料	授業料 (年間)	その他経費			合 計
			内 訳			
1 年生	10,810円	163,200円	624,000円程度	生徒諸費※ 教材費 被服・道具(任意) 資格取得(選択)	429,000円 14,000円 110,000円 71,000円	798,000円程度
2 年生	-	163,200円	221,000円程度	生徒諸費※ 資格取得(選択)	113,000円 108,000円	384,000円程度
合 計	10,810円	326,400円	845,000円程度	-	-	1,182,000円程度

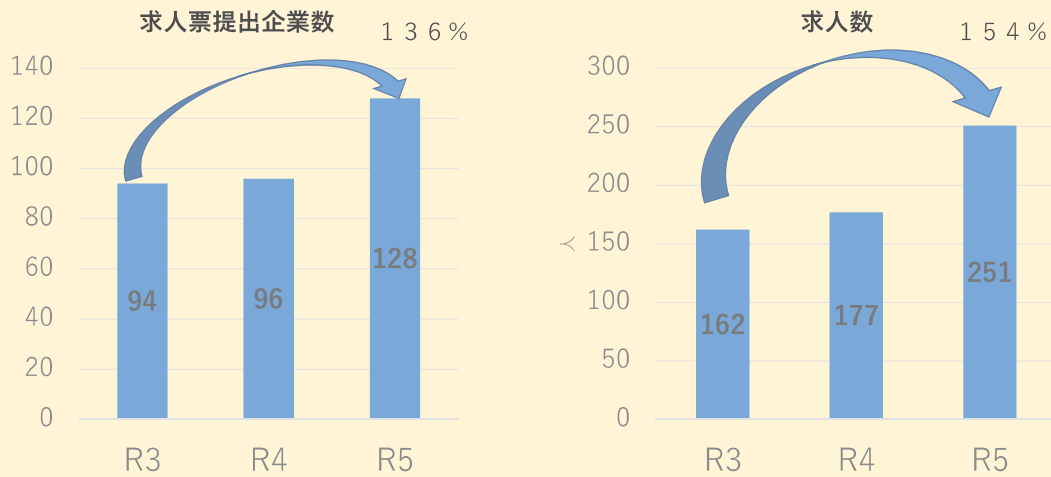
授業料等 **34万円** 程度 + 生徒諸費等 **85万円** 程度 + 短期・長期就業実習経費 (宿泊費・交通費)

※生徒諸費
傷害保険掛金、生徒会費、実習経費（宿泊・移動）、被服・道具（各自用意の物品を除く）、健康診断料、資格取得（必修）、蜂刺さされ対策費 等

生徒が利用できる主な支援制度

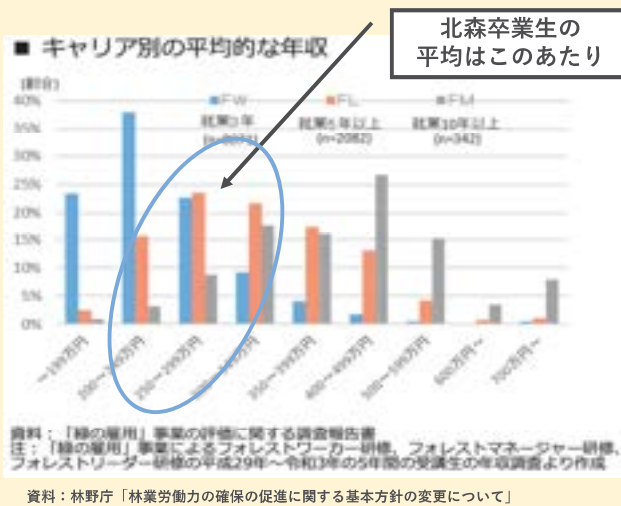
種 類	支給額の目安 (年間)	道内 就業 限定	備 考
1-1 緑の青年就業準備給付金（国費） 1-2 修学環境整備給付金（道費）	1-1 R3:114万円/年 R4,5:142万円/年	1-2 ○	1-1は林業、1-2は木材産業等以外（公務員等）に就業した場合には全額一括返還
2 奨学金制度 (日本学生支援機構)	月額により 異なる		給付型・貸与型の2種類があり、給付型は1との併用不可
3 北海道林業・木材産業人材育成支援協議会給付金	概ね 10万円程度	○	道内の林業・木材産業（但し、市町村職員含む）に就業意志がある場合のみ給付

求人数等の推移

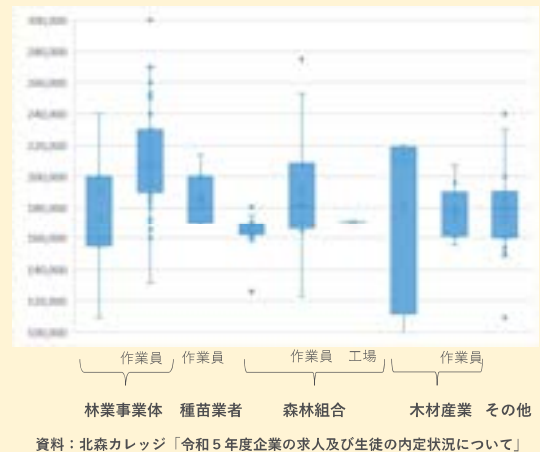


21

北森カレッジ卒業生の初任給

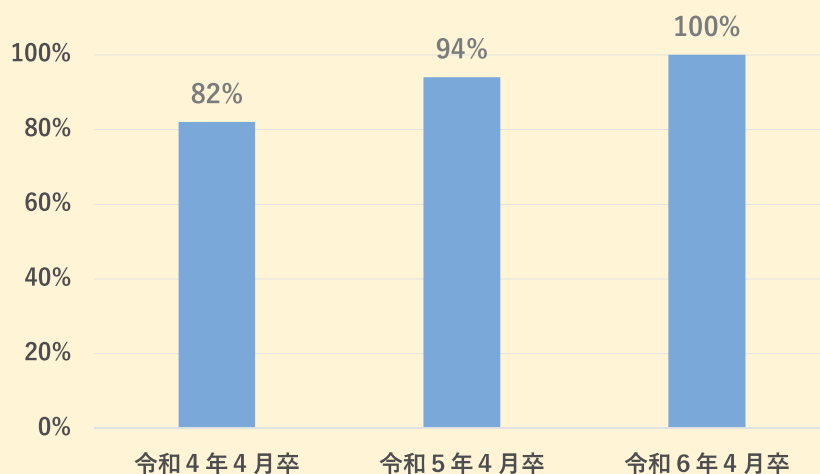


令和5年度求人票における業種別初任給 万円



22

林業・木材産業への定着率



※定着率：林業・木材産業の在籍者 ÷ 林業・木材産業への就業者 × 100 令和6年9月現在

23